



平成30年4月27日

各位

会社名 **ダイビル株式会社**
 代表者名 代表取締役社長執行役員 園部 俊行
 (コード: 8806 東証第1部)
 問合せ先 執行役員 総務部長 下川 浩志
 (TEL. 06 - 6441 - 1932)

剰余金の配当(増配)に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、下記のとおり平成30年3月31日を基準日とする剰余金の配当について決議しましたので、お知らせいたします。

記

1. 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成29年4月28日公表)	前期実績 (平成29年3月期)
基準日	平成30年3月31日	同左	平成29年3月31日
1株当たり配当金	10円50銭	8円50銭	8円00銭
配当金総額	1,224百万円	—	933百万円
効力発生日	平成30年6月28日	—	平成29年6月29日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

2. 理由

当期(平成30年3月期)におきましては、「新ダイビル」の収益が寄与するなど、国内外で事業が順調に拡大したほか、持分法による投資利益の計上も加わり、連結で期初の予想を上回る親会社株主に帰属する当期純利益を確保いたしました。

当社は、財務体質の強化と将来の事業展開のために必要な内部留保の充実を図りながら、業績の推移を踏まえつつ安定的な配当を実施することを配当の基本方針とし、配当性向(連結)の中長期的水準値として30%以上を目処としてきております。

つきましては、当期(平成30年3月期)の1株当たり期末配当は、直近の配当予想(8.5円)から2.0円増配し、10.5円とする予定であります。従って、年間の1株当たり配当金は19.0円(中間8.5円、期末10.5円)となり、配当性向(連結)は30.5%であります。

なお、本件につきましては、本年6月開催の定時株主総会に付議する予定であります。

(参考) 年間配当の内訳

基準日	1株当たり配当金(円)		
	第2四半期末(中間)	期末	合計
次期予想(平成31年3月期)	9円50銭	9円50銭	19円00銭
当期実績(平成30年3月期)	8円50銭	10円50銭	19円00銭
前期実績(平成29年3月期)	8円00銭	8円00銭	16円00銭

次期(平成31年3月期)におきましては、年間の1株当たり配当金は19.0円(中間9.5円、期末9.5円)とし、配当性向(連結)は34.1%(親会社株主に帰属する当期純利益 予想額6,500百万円)を予想しております。なお、本日、発表いたしました新中期経営計画「“Design 100”プロジェクト Phase-II」では、配当性向(連結)について、「30~35%を目安として、安定的に配当する」ことにいたしました。

以上